

平成23年度 島根県立大学公開講座

【講座1】石見に生きる～石見の元氣人が話す

会場：島根県立大学講義・研究棟 中講義室3

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
1	室崎富恵 (いわみ福祉 会理事長)	人が集うまちづくり～福祉 は誰のものか	一般的に、「福祉」と「まちづくり」は、それぞれ別個に検討すべき政策・課題と認識されがちです。そして、両者とも実態として、関心の多くはハード整備に集まってきました。しかし、もともとこれらは住民レベルでは運動しているものであり、そこに暮らす人々の「生活の質」をソフト面でいか保証していくかを考えることが特に重要な視点と言えるのではないのでしょうか。そこで、福祉の観点からまちづくりの重要性とその具体的な施策のあり方について考えます。	6/1 (水) 18:15～19:45
2	石橋留美子 (匹見町まち づくりコー ディネー ター)	出雲人が石見で元氣になっ た「喜ばれるという喜び」	島根県人でありながら、その存在も名前も知らなかった匹見町。町誌編さんの仕事がかっかけて匹見町が大好きに。不思議な縁がつながって、まちづくりコーディネーターに就任。「喜ばれるという喜び」をキーワードに、田舎体験イベントやボランティア制度を通じた交流事業の取組や、匹見町の魅力についてお話します。	6/15 (水) 18:15～19:45
3	かわべまゆみ (NPO法人 結まーるプ ラズ理事長)	ヨソモノが見つけた 「奇跡の里・石見」	東京から石見に1ターンしてからの12年は、日々、驚きと感動と発見の連続でした。「日本に、田舎は数あれど、かくも美しき地域はなし。まさに、田舎の中の田舎、極上の田舎・奇跡の里発見！」そう思うほどでした。今回は、石見の真の魅力とこれからの可能性について、ヨソモノであり、さらには都会人の視点も含めて提案していきます。	8/3 (水) 18:15～19:45
4	寺本英仁 (邑南町 商工観光室)	A級グルメのまちを目指す 邑南町の取り組み	2010年に邑南町は農工商連携等ビジョンを策定しました。A級グルメのまちをめざして、食の専門家を招いた交流活動を重ね、都会からの1ターンも増えています。まちぐるみの「食」の産業振興を進めてきた邑南町の歩みと今後の展望について講義します。	10/19 (水) 18:15～19:45
5	岩井賢朗 (宥真砂 代表取締役)	山里起業から10年～その 光と影・未来へ	あえて中山間地域で地域名を会社名に冠し住民有志で起業した(宥)真砂(まさご)の10年間の彷徨。益田市内の食品製造業者による益田「中世の食」再現プロジェクトにおいて「歴史」をキーワードに連携する中で見えてきた希望。失敗も含めた実体験をもとに、今後石見で小さく生き抜いていくための課題の整理と、解決への糸口を受講者の皆さんとともに探ります。	12/21 (水) 18:15～19:45

【講座2】社会を学ぶ～国際・地域・文化

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
6	八田典子 (浜田キャンパス)	地域を元気づける 「アートのか」	近年、国内外の各地で、地域に根ざした多様な「アートプロジェクト」が展開され、注目されています。「ミュンスター彫刻プロジェクト」「大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ」「瀬戸内国際芸術祭」等のユニークな事例を挙げながら、地域を元気づける「アートのか」について考えてみたいと思います。	6/22 (水) 18:15～19:45
7	赤坂一念 (浜田キャンパス)	国際ニュースを見る眼	国際ニュースを見る時、どのような視点で見れば良いのか。あるいは何に注目すれば、国際ニュースの内容をより深く理解できるのか・・・この講座では、国際ニュースとどう向き合えば良いのかなどについて分かりやすく解説します。この講座を受講した後は、国際ニュースを見る眼がきっと変わります。	7/6 (水) 18:15～19:45
8	中塚敏之 (松江キャンパス)	島根の食文化	島根県東部(出雲地域)は江戸時代松平家(親藩)の領地としてその食文化が受け継がれてきています。中でも松江藩七代藩主の松平治郷(不昧)公は茶の湯を極め和菓子、蕎麦会席等を広めたと伝えられています。今回は蕎麦を中心にして、和菓子、雑煮等の紹介と他県との食文化の比較についてお話します。	11/9 (水) 18:15～19:45

### 【講座3】身体とこころの健康（キャンパス連携講座）

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
9	福澤陽一郎 (出雲キャンパス)	身体の健康のために	健康ブームで、健康食品やサプリメントに関心集まっています。身体の健康のためには、まずは、運動・栄養・休養を柱に生活を振り返り、自分の健康チェックをきちんと行うことです。生活習慣病と予防について、身近な話題でお話します。	9/29 (木) 14:00~16:00
	川中 淳子 (浜田キャンパス)	こころの健康のために	心身の不調は、“ストレス”に起因することが多いようです。心身の健康のためには、自分のところに目を向けたり、自分の置かれている環境を振り返ってみたりすることが役立ちます。心身の健康やカウンセリングについて、具体的にお話します。	

### 【講座4】神々の国しまね～古事記1300年

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
10	飯田泰三 (浜田キャンパス)	島根文化史断章 1	日本の文化史上、島根が特別の意味をもった3つの事柄について考える。 1 記紀神話における出雲（スサノヲのオロチ退治や大国主の国造りと国譲りの神話が意味するもの）	6/29 (水) 18:15~19:45
11		島根文化史断章 2	2 柿本人麻呂と石見（人麻呂の石見相聞歌と終焉の地の謎）	7/20 (水) 18:15~19:45
12		島根文化史断章 3	3 ラフカディオ・ハーンと松江（キリスト教ヨーロッパを脱出してクレオール文化に親しみ、松江に安住の地を見出したハーンの軌跡が意味するもの）	7/27 (水) 18:15~19:45

### 【講座5】日本語と日本語教育

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
13	犬塚優司 (浜田キャンパス)	日本語はどんな言語か 【文法編 1】	日本語はどんな言語なのか。今回は、日本語の文法的な特徴を、英語・中国語・韓国語など他の言語と比べながら、わかりやすく説明します。私たちがいつも話している日本語が、どのような文法規則によって形作られているかを考えていきます。	10/12 (水) 18:15~19:45
14		日本語はどんな言語か 【文法編 2】	「-た」、「-ている」や「-である」などの用法をもとに、日本語では、「過去」「現在」「未来」がどのように表現されるか、動作や状態が時間の流れの中でどのように表現されるか、を考えていきます。	10/26 (水) 18:15~19:45
15	中園博美 (島根大学外国語教育センター)	外国語としての日本語の教え方（文法）	「ここへ来てください」、「これは、きれくありません」、「日本で留学しました」...などに見られる誤りに対して、どのように説明すれば学習者は文法を正しく理解してくれるのでしょうか。今回は、主に初級レベルで扱われる文法事項をとりあげ、その特徴や教え方、教材などについてお話します。	11/5 (水) 13:15~14:45
16	小林明子 (浜田キャンパス)	外国語としての日本語の教え方（文字・語彙）1	日本語の語彙には、昔からの日本の言葉である和語、中国から来た漢語、主として欧米から取り入れた外来語などがあります。さらに、これらの語彙を書くときには、ひらがな、カタカナ、漢字など数種類の文字を使い分けて書きます。このように複雑な文字、語彙を日本語学習者はどのように学んでいるのでしょうか。本講座では、日本語の文字・表記や語彙の特徴、その教え方、教材などについてお話します。	11/16 (水) 18:15~19:45
17		外国語としての日本語の教え方（文字・語彙）2		11/30 (水) 18:15~19:45

## 【講座6】英語と英語教育

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
18	ケイン・エレナ・アン (浜田キャンパス)	明日教室で使える英語指導法	中学校の英語の先生や小学校の外国語活動に関わっておられる方、英語教育に興味をお持ちの方のための講座です。英語の実践的な指導法について考えましょう。すぐに使える活動を紹介し、本講座は平易な英語で行いますし、スライドには日本語による説明を付けますので、日本語話者の方も英語話者の方もふるってご参加ください。	10/5 (水) 18:15~19:45
19	マニング・クレイグ・トーマス (浜田キャンパス)	Incorporating cooperative learning into the classroom	This presentation is for teachers. It will be done mostly in English. After attending this presentation, you will have a better theoretical understanding and practical knowhow to effectively use students as a resource for learning in your classroom, regardless of what subject you teach. There will be activities to provide you with experiential knowledge as each new idea is introduced. For best results, bring your peers and colleagues with you. この講座は英語で行われますが、実践的な作業を通して共同学習について学べる参加型の分かり易い講座です。	11/2 (水) 18:15~19:45
20	ヘネベリー・スティーヴン (浜田キャンパス)	Incorporating blogging into your teaching	This presentation is for teachers. It will be done mostly in English. After attending this presentation you will have a better understanding of how to incorporate blogging into your teaching practice. The presentation will discuss different aspects of blogging for teachers, such as professional development, Personal Learning Networks (PLN), and blogging in the classroom.	11/24 (木) 18:15~19:45

## 【講座7】本と図書館のWaku2 (わくわく) ツアー

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
21	村井洋 (浜田キャンパス)	地域思想の水脈を訪ねて	なぜ地域を大切にするのか？私たちにとって地域で生活することはどんな意味があるのか？こうした問いに答えやヒントを与えてくれる人々の思想を訪ねたいと思います。宮沢賢治、柳田国男、Th.ジェファソン、J.メーザー、M.ハイデッガーなどをとりあげ、かれらのオリジナルの章句を読みながら、その思想を生んだ背景と私たちにとっての意味を考えたいと思います。	7/13 (水) 18:15~19:45
22		老いの楽しみ：キケロー『老年について』を読む	団塊の世代の退職期に合わせたかのように、書店には老年期を扱った数多くの「老年本」が溢れ出しました。まず、それらの書物の中での古典中の古典であり、ローマの哲学者で政治家キケローの手になる『老年について』を読みます。あわせて、エリクソン（心理学）、上野千鶴子（ジェンダー論）、フォスター（文学）など、現代人によって書かれた老人論のいくつかを取り上げることになります。	12/14 (水) 18:15~19:45
23	渡部望 (浜田キャンパス)	モンテーニュについて考える	モンテーニュはフランスの16世紀、カトリックとプロテスタントが覇権を争う戦乱の時代を生き、政治にコミットしながらも、自分自身と時代に関する深い思索を、静かに『エッセー』に書きとどめました。今回の講座ではそうした彼の思索の一端をご紹介したいと思います。	10/20 (木) 18:15~19:45